

IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュール

IBM® BladeCenter® S SAS RAID コントローラー・モジュールは、IBM BladeCenter S シャーシ内部で完全に統合された RAID ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) 機能を提供します。

パッケージ内容

- 1 つの IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュール
- 1 つのバッテリー・バックアップ装置
- サポート CD

システム要件

IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュールは、単独またはペアで取り付けることができます。これらのモジュールと付属のバッテリー・バックアップ装置は、IBM BladeCenter S シャーシ内でのみ機能します。

システム要件は、以下のとおりです。

- 1 つまたは 2 つの IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュール
- 各 IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュールごとに 1 つのバッテリー・バックアップ装置
- RAID 構成 0 および 1 の場合は 2 つ以上、RAID 5 の場合は 3 つ以上、RAID 10 の場合は 4 つ以上のハード・ディスク
- アドバンスト・マネージメント・モジュール
- ディスク・ストレージ・モジュール (DSM) ごとに 2 つのパワー・サプライ
- サポートされるイーサネット・スイッチ

取り付けおよび構成

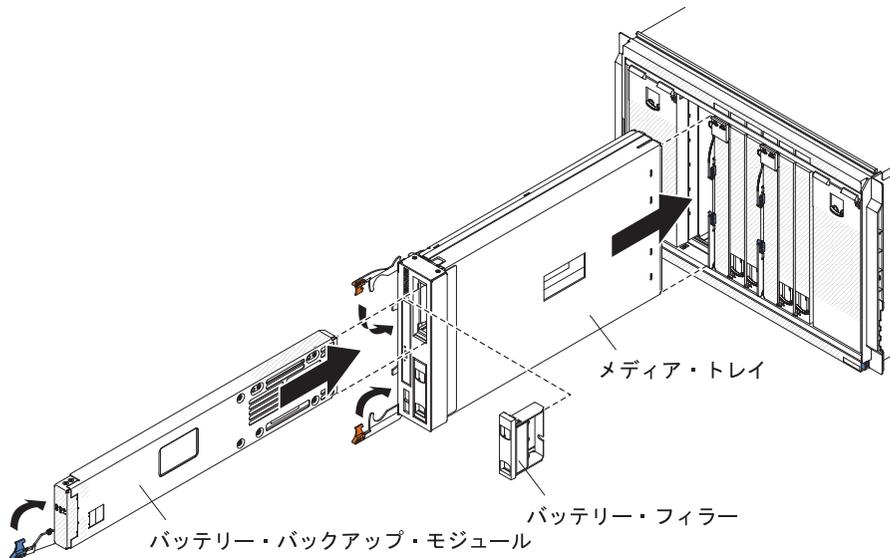
この手順では、以下の IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュールの構成に使用される要素について言及しています。

- Start Now Advisor は、BladeCenter S シャーシへの接続および構成を迅速に行うのに役立つ構成ツールです。
- IBM BladeCenter アドバンスト・マネージメント・モジュールは、BladeCenter シャーシの基本的な管理および制御機能を提供します。
- IBM ストレージ構成マネージャーは、Web ブラウザーを使用して IBM BladeCenter 内の SAS スイッチ接続モジュールおよび SAS RAID コントローラー・モジュールを管理、モニター、および構成することができるシステム管理アプリケーションです。

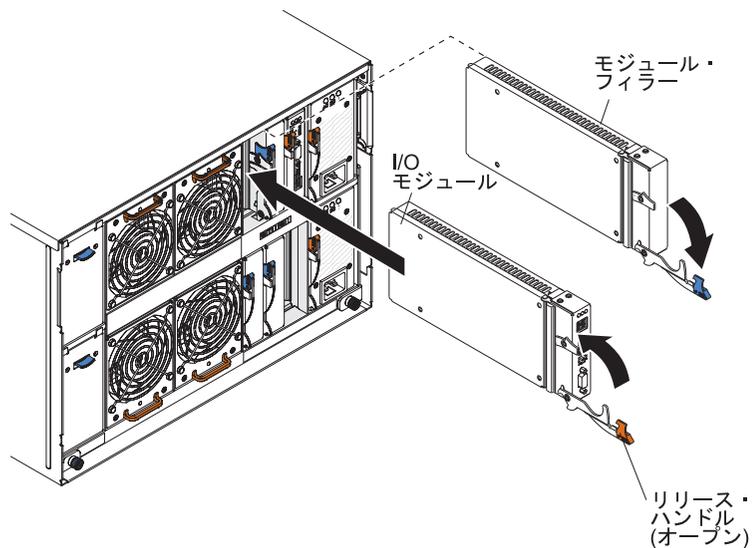
ハードウェアの取り付け

静電気の影響を受けやすい部品の取り扱いに関する安全のガイドラインに従って、「*IBM BladeCenter S SAS RAID Controller Module Installation and User Guide*」で概要が示されている前提条件ステップを実行します。

- メディア・トレイのベイ 1 にバッテリー・バックアップ装置を取り付けます。SAS RAID コントローラー・モジュールが 2 つある場合は、メディア・トレイのベイ 2 に 2 つ目のバッテリー・バックアップ装置を取り付けます。



- 最初の SAS RAID コントローラー・モジュールを I/O モジュール・ベイ 3 に取り付けます。2 つ目の SAS RAID コントローラー・モジュールがある場合は、I/O モジュール・ベイ 4 にそれを取り付けます。



SAS RAID モジュール・パラメーターの設定

モジュールを物理的に取り付けた後、以下のいずれかの方法を選択して構成を行うことができます。

Start Now Advisor 方式

BladeCenter S シャーシに付属の Start Now Advisor CD を使用するガイド付き構成。

インストールに使用しているラップトップまたは PC に CD を挿入し、示されるプロンプトに従います。

アドバンスト・マネージメント・モジュール方式

アドバンスト・マネージメント・モジュールへの直接接続を使用するガイドなしの手動構成。

アドバンスト・マネージメント・モジュールにログインし、残りのセットアップ・タスクを実行します。

Start Now Advisor 方式

Start Now Advisor を使用することで、ステップバイステップ・ウィザードを使用したストレージ構成を含む初期セットアップを完了することができます。Start Now Advisor CD をロードする場合、2 つのパス (**Express** と **Launch**) が選択可能です。**Express path** を選択すると、この方法でストレージ・プールを作成し、ストレージを供給することができます。あるいは、**Launch method** を選択すると、IBM ストレージ構成マネージャーのインストールを起動して、ストレージ・プールの作成、ストレージの供給、システム機能のモニターを行うことができます。

Start Now Advisor の Express 方式を使用するには、以下のステップを実行します。

1. アドバンスト・マネージメント・モジュールと通信できるワークステーションに Start Now Advisor CD を挿入し、ウィザードの指示に従います。

注: Start Now Advisor のインストールを完了するには、アドバンスト・マネージメント・モジュールの IP アドレス、各 IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュールの RAID コントローラーおよび SAS スイッチ・コンポーネントの IP アドレスが必要です。

2. ストレージ・プールの作成を求めるプロンプトが表示されたら、完全なストレージ構成を実行するか、ストレージ・プールを作成せず、ストレージのセットアップを行わずに構成を完了することを選択することができます。

アドバンスト・マネージメント・モジュール方式

次のように、アドバンスト・マネージメント・モジュールにログインします。

1. Web ブラウザーの URL フィールドに、アドバンスト・マネージメント・モジュールの IP アドレスを入力します。

注: デフォルト IP は 192.168.70.125 です。

2. ユーザー名とパスワードを入力します。

注: デフォルトのユーザー名は USERID、デフォルトのパスワードは PASSWORD (6 文字目はゼロ) です。

3. 非アクティブ・セッションのタイムアウト値を求めるプロンプトが表示されたら、値を選択します。**no timeout** を選択する場合、セッションを完了したらログアウトすることを忘れないでください。そうしない場合、次にログインを試行したときに、システムがエラーを表示します。
4. 「Continue」をクリックします。
5. 「I/O Module Tasks」メニューから、「Configuration」をクリックします。

6. 「I/O Module Configuration」セクションから、「**Bay 3**」をクリックします。
7. SAS スイッチおよび RAID コントローラーの IP 設定を入力します。

注: 各 RAID コントローラーのゲートウェイに、アドバンスド・マネージメント・モジュールの IP アドレスを使用します。
8. 設定を保存します。
9. I/O モジュール・ベイ 4 に RAID コントローラーが搭載されている場合は、これらのステップを繰り返し、その RAID コントローラーの IP 設定も同様に構成します。
10. 次のステップに進む前に、IP 設定がリストされていることを確認します。
11. **Fast POST** を有効にします。
 - a. 「I/O Module Tasks」メニューから、「**Admin/Power/Restart**」をクリックします。
 - b. 「**I/O Module Advanced Setup**」セクションまでスクロールダウンし、「**Select a module**」メニューから「**I/O module 3**」を選択します。
 - c. 「**Fast POST**」のメニューから「**Enabled**」を選択します。
 - d. 「**Save**」をクリックします。
12. **I/O モジュール 4** に取り付けられている RAID コントローラーについて、これらのステップを繰り返して、**Fast POST** を有効にします。

ストレージの構成

まだ IBM Start Now Advisor を使用して初期構成をセットアップしていない場合は、以下の方法を使用して、統合された共有ストレージを構成することができます。

- IBM ストレージ構成マネージャー
- IBM SAS RAID コマンド・ライン・インターフェース

IBM ストレージ構成マネージャー

IBM ストレージ構成マネージャーを使用すると、ストレージの初期構成をセットアップすることができ、BladeCenter S ストレージの拡張管理機能およびモニター機能が提供されます。IBM ストレージ構成マネージャーは、システム・ヘルス・モニター、デバイス・ユーザー管理、およびトラブルシューティング機能も実行します。ストレージ構成マネージャーを使用してストレージを構成した場合は、「*IBM Storage Configuration Manager Planning, Installation and Configuration Guide*」を参照して、完全なインストール手順および互換性に関する重要な注意を確認してください。

IBM ストレージ構成マネージャーのダウンロードおよびインストール

以下は要約であり、基本のインストール手順として使用する必要があるわけではありません。完全な手順および互換性に関する重要な注意については、「*IBM Storage Configuration Manager Planning, Installation and Configuration Guide*」を参照してください。

1. <http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html> にナビゲートします。
2. 「**Choose Software**」リストから「**IBM Storage Configuration Manager**」を選択し、インストーラー・ファイルをダウンロードします。
3. <http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html> で、ご使用のインストール済み環境のタイプに固有の IBM ストレージ構成マネージャーのインストーラー・ファイル (TAR、ZIP、または ISO) をダウンロードします。
4. .ZIP または .TAR インストーラー・ファイルを一時ディレクトリーに解凍するか、ISO イメージを CD に書き込みます。

5. インストール・タイプの選択を求めるプロンプトが表示されたら、「**SCM Full Install for all devices**」を選択します。
6. IBM ストレージ構成マネージャーをインストールした後、ワークステーションの再始動を求めるプロンプトが表示されます。再始動時に、IBM ストレージ構成マネージャーのサービスが自動的に開始されません。
7. 「スタート」メニューから、IBM ストレージ構成マネージャーを起動します。
8. ログインして初期構成ウィザードを選択し、画面のプロンプトに従います。

SAS RAID コントローラーのコマンド・ライン・インターフェース (CLI)

RAID コントローラーのコマンド・ライン・インターフェース (CLI) は、RAID コントローラーの操作に使用できる独立プログラムです。ユーザー ID とパスワードを使用して、Telnet/ssh セッションにログインする必要があります。RAID コントローラー CLI が自動的に開始され、<CLI> プロンプトが表示されます。RAID コントローラー CLI を終了すると、Telnet/ssh セッションも同時に終了します。

注: デフォルトのユーザー名は USERID、デフォルトのパスワードは PASSWORD (6 文字目はゼロ) です。

RAID コントローラー CLI で使用するコマンドおよびそれらのコマンドの引数のリストについては、サポート CD 上の「*IBM BladeCenter S SAS RAID Controller Module Installation and User's Guide*」を参照してください。

IBM サポート・サイト

IBM BladeCenter S SAS RAID コントローラー・モジュールに関する追加のサポートおよび資料については、以下を参照してください。

- 完全な資料 – IBM BladeCenter 製品のインフォメーション・センター
- システム・サポート – <http://www.ibm.com/systems/support/>

サポート CD のコンテンツ

- *IBM BladeCenter S SAS RAID Controller Module Installation and User's Guide*
- サポートされるファームウェアおよびデバイス・ドライバ
- 特記事項
- *IBM BladeCenter S SAS RAID Quick Start Guide*
- マルチリンガルの *Safety Information*

インストール情報について詳しくは、サポート CD の documentation ディレクトリー内の資料を参照してください。

第4版第1刷 2012.10

© Copyright IBM Corporation 2011.

(1P) P/N: 00D9316

